

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年1月31日

上場会社名 日本テクノ・ラボ株式会社 上場取引所 札
 コード番号 3849 URL <http://www.ntl.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)松村 泳成
 問合せ先責任者 (役職名)管理部長 (氏名)鈴木 孝男 (TEL)03(5276)2810
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	357	△14.6	△82	-	△82	-	△48	-
25年3月期第3四半期	418	△54.0	△35	-	△34	-	△23	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	△6,096.02	-
25年3月期第3四半期	△2,941.06	-

(2) 財政状態

月	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	1,011	815	80.6	102,173.58
25年3月期	1,157	877	75.3	109,230.00

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 815百万円 25年3月期 871百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	-	1,000.00	-	1,000.00	2,000.00
26年3月期	-	0.00	-	-	-
26年3月期(予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	687	1.5	1	△97.1	2	△94.4	4	△81.1	501.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

1株当たり予想当期純利益(通期)は、予想期中平均株式数をもとに計算しています。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期3Q	8,480株	25年3月期	8,480株
26年3月期3Q	503株	25年3月期	503株
26年3月期3Q	7,977株	25年3月期3Q	8,093株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融法商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10
(2) 研究開発の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融政策の効果により、株高基調に転じ、景気回復の兆しが見え始めています。しかしながら一方では、円安により原材料価格は上昇し、また電気料金の値上げや消費税増税等による個人消費の低迷に対する懸念等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

情報産業における近年の動向としては、利用者側にとり低コストで便利なツール「クラウド」によりコンピュータの利用が拡大されつつありますが、この状況により、システム構築の依頼が従来に比べて減少したり、システム構築の受託単価が下落する可能性があることが要因となり、IT企業は収益の構造を見直し改革してゆくことが必要になってきています。

このような状況下、当社は、既存顧客への運用支援を行いながら、製品の品質・機能をさらに向上させ、顧客満足度を上げることによりユーザとの信頼関係を築きつつ、競争力のさらなる強化に努め、新規ユーザを獲得すべく営業活動に邁進してまいりました。

しかしながら、当社の事業の性質上、受注は下半期に多く、また、納品及び検収の時期が年度末に集中する傾向にあります。特に、当事業年度においてはその傾向が強まっており、結果として、当第3四半期累計期間における売上高の進捗には至りませんでした。

その結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高は357,410千円（前年同期比14.6%減）、営業損失は82,999千円（前年同期は35,448千円の営業損失）、経常損失は82,881千円（前年同期は34,487千円の経常損失）、四半期純損失は48,627千円（前年同期は23,802千円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(イメージング&プリンタコントローラ事業)

当セグメントにおきましては、保守契約による売上が増加しましたが、製品販売による売上及び受託開発による売上が減少したため売上高は減少しました。また、第2四半期から継続して開発しているインクジェットプリンタ関係の研究開発費を計上したことにより利益は減少しました。

その結果、売上高は113,240千円（前年同期比39.0%減）、利益は23,825千円（前年同期比59.4%減）となりました。

(ストレージソリューション事業)

当セグメントにおきましては、保守契約は前年同期と比較しほぼ同等ですが、Blu-ray/DVDメディアにデータをバックアップし、メディア盤面に自動印刷する装置（製品名「iDupli」）の販売が減少したため、売上高は減少しました。また、引き続き、複数枚のBlu-rayメディアを使用し、大容量・高速転送・長期保存性を備える光ディスクチェンジャ装置システムの研究開発費を計上したことにより利益は減少しました。

その結果、売上高は48,554千円（前年同期比18.5%減）、損失は6,001千円（前年同期は21,125千円の利益）となりました。

(セキュリティ事業)

当セグメントにおける情報セキュリティ事業におきましては、セキュリティ・プリンティングシステム（製品名「SPSE」）については、大手金融機関、大手証券会社、その他大手企業を中心とした既存ユーザ

への保守契約の継続が安定しており、今後も保守契約売上の増加に加え、中小規模のユーザへ営業活動を展開し、受注を獲得してまいります。

また、映像セキュリティ事業におきましては、映像集中管理システム（製品名「FIRE DIPPER」）について、空港監視、道路監視、発電所監視並びに警察関連から受注し、納品に向けて注力しております。すでに受注しております案件の大半が年度末に納品及び検収取得の案件が多いため、当第3四半期累計期間の売上には結びついていない結果となっております。

その結果、売上高は95,087千円（前年同期比28.7%減）、損失は22,996千円（前年同期は21,123千円の損失）となりました。

(その他)

その他の事業におきましては、受託開発案件の受注は減少しましたが、一過性の商品売上により売上高及び利益が増加しました。

その結果、売上高は100,528千円（前年同期比152.8%増）、利益は7,971千円（前年同期比76.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状態

当第3四半期会計期間末における資産、負債及び純資産の状態は以下のとおりです。

(流動資産)

当第3四半期会計期間末の流動資産合計は695,547千円と前事業年度末に比べて157,785千円減少しました。減少した主な要因は、繰延税金資産が28,546千円増加しましたが、短期借入金の返済、配当金の支払い等により現金及び預金が148,641千円、売上債権の回収により受取手形及び売掛金が72,239千円減少したこと等によるものです。

(固定資産)

当第3四半期会計期間末の固定資産合計は315,610千円と前事業年度末に比べて11,836千円増加しました。増加した主な要因は、減価償却により有形固定資産が2,641千円、無形固定資産が1,620千円減少しましたが、保険積立金が14,147千円増加したこと等によるものです。

(流動負債)

当第3四半期会計期間末の流動負債合計は112,870千円と前事業年度末に比べて88,737千円減少しました。減少した主な要因は、借入金の返済により短期借入金が100,000千円減少したこと等によるものです。

(固定負債)

当第3四半期会計期間末の固定負債合計は83,249千円と前事業年度末に比べて5,002千円増加しました。増加した主な要因は、役員退職慰労引当金が4,808千円増加したこと等によるものです。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産合計は815,038千円と前事業年度末に比べて62,214千円減少しました。減少した主な要因は、配当金の支払い及び四半期純損失の計上等により利益剰余金が56,604千円減少したこと等によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、本日公表いたしました「業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	606,046	457,404
受取手形及び売掛金	209,298	137,058
商品及び製品	13,635	27,839
仕掛品	10,157	23,683
前払費用	10,895	10,059
繰延税金資産	2,454	31,000
未収還付法人税等	—	4,865
その他	1,115	3,825
貸倒引当金	△270	△190
流動資産合計	853,333	695,547
固定資産		
有形固定資産		
建物	11,669	12,199
減価償却累計額	△7,722	△8,711
建物(純額)	3,946	3,487
車両運搬具	10,039	10,039
減価償却累計額	△7,101	△8,020
車両運搬具(純額)	2,937	2,018
工具、器具及び備品	36,266	36,456
減価償却累計額	△32,215	△33,669
工具、器具及び備品(純額)	4,051	2,787
有形固定資産合計	10,935	8,293
無形固定資産		
特許権	858	728
商標権	703	603
ソフトウェア	5,803	4,414
電話加入権	1,569	1,569
無形固定資産合計	8,935	7,314
投資その他の資産		
投資有価証券	842	1,352
関係会社株式	21,000	23,000
出資金	10	10
長期貸付金	3,000	2,441
差入保証金	40,489	40,489
保険積立金	214,262	228,409
その他	6,000	6,000
貸倒引当金	△1,700	△1,700
投資その他の資産合計	283,903	300,002
固定資産合計	303,774	315,610
資産合計	1,157,107	1,011,158

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	35,272	46,224
短期借入金	100,000	—
未払金	1,530	3,549
未払費用	15,014	14,933
未払法人税等	12,302	—
前受金	32,263	44,838
預り金	4,935	3,012
その他	289	311
流動負債合計	201,608	112,870
固定負債		
繰延税金負債	220	414
役員退職慰労引当金	78,026	82,834
固定負債合計	78,246	83,249
負債合計	279,855	196,119
純資産の部		
株主資本		
資本金	401,200	401,200
資本剰余金	395,700	395,700
利益剰余金	110,338	53,733
自己株式	△36,271	△36,271
株主資本合計	870,967	814,362
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	360	676
評価・換算差額等合計	360	676
新株予約権	5,924	—
純資産合計	877,252	815,038
負債純資産合計	1,157,107	1,011,158

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	418,339	357,410
売上原価	228,373	223,004
売上総利益	189,965	134,405
販売費及び一般管理費	225,414	217,405
営業損失(△)	△35,448	△82,999
営業外収益		
受取利息	254	199
保険事務手数料	707	678
その他	150	51
営業外収益合計	1,112	929
営業外費用		
支払利息	72	493
為替差損	78	316
その他	—	0
営業外費用合計	151	810
経常損失(△)	△34,487	△82,881
特別利益		
新株予約権戻入益	754	5,924
特別利益合計	754	5,924
税引前四半期純損失(△)	△33,733	△76,956
法人税、住民税及び事業税	217	217
法人税等調整額	△10,148	△28,546
法人税等合計	△9,931	△28,328
四半期純損失(△)	△23,802	△48,627

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	イメージング& プリンタコント ローラ事業	ストレージソリ ューション事業	セキュリティ 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	185,643	59,607	133,324	378,575	39,764	418,339
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	185,643	59,607	133,324	378,575	39,764	418,339
セグメント利益又は損失(△)	58,644	21,125	△21,123	58,647	4,520	63,168

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、受託開発事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	58,647
「その他」の区分の利益	4,520
全社費用(注)	△98,617
四半期損益計算書の営業損失(△)	△35,448

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	イメージング& プリンタコント ローラ事業	ストレージソリ ューション事業	セキュリティ 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	113,240	48,554	95,087	256,882	100,528	357,410
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	113,240	48,554	95,087	256,882	100,528	357,410
セグメント利益又は損失(△)	23,825	△6,001	△22,996	△5,172	7,971	2,798

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、受託開発事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△5,172
「その他」の区分の利益	7,971
全社費用(注)	△85,798
四半期損益計算書の営業損失(△)	△82,999

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①受注状況

当第3四半期累計期間の受注状況をセグメント別に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)			
	受注高 (千円)	前年同期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同期比 (%)
イメージング&プリンタコントローラ事業	142,468	△34.2	70,427	△59.2
ストレージソリューション事業	78,655	104.0	40,216	98.5
セキュリティ事業	149,329	4.3	74,426	△10.4
その他	100,716	503.0	188	△97.7
合計	471,171	13.6	185,259	△34.7

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②販売実績

当第3四半期累計期間の販売実績をセグメント別に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	
	売上高(千円)	前年同期比(%)
イメージング&プリンタコントローラ事業	113,240	△39.0
ストレージソリューション事業	48,554	△18.5
セキュリティ事業	95,087	△28.7
その他	100,528	152.8
合計	357,410	△14.6

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 研究開発費の状況

当第3四半期累計期間における当社の研究開発費の総額は、73,568千円(前年同期比42.4%増)となりました。その内容は主に、大容量光ディスクチェンジャ装置システム開発、映像集中管理システム(製品名「FIRE DIPPER」)の機能拡充、セキュリティ・プリンティングシステム(製品名「SPSE」)のバージョンアップ及びWisePatrol機能拡充等に関する研究開発活動であります。